

令和5年度 第1回 神久呂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月24日（月） 14時00分から15時10分まで
- 2 開催場所 神久呂小学校 多目的室
- 3 出席委員 谷野 協司、和久田 明弘、中村 典子、尾高 理恵、
和久田 ゆかり、佐野 晃希
- 4 欠席委員 谷井 文明
- 5 学 校 山田 英明（校長）、高倉 健二（教頭）、辻村 真一（教務）、
春田 元彦（CS担当）、山本 一未（CS担当）、伊藤 由紀（CS
ディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 由紀
- 9 議長の選出
尾高委員の立候補により、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
(1) 令和5年度神久呂小学校いじめ防止における基本方針について
(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 11 会議記録
司会の中村委員から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和5年度神久呂小学校いじめ防止における基本方針について
議長の指示により、校長から、神久呂小学校いじめ防止における基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - ・ 子供がいじめをしてしまった時、家庭にも問題があるとも言われる。家庭の中で、親が子供に向き合えない等、不安定な時、保護者の心のより所が大切である。いじめには原因がある。親から愛されない、親子の関わりが少ない、ということもあるのではないか。そういう時、学校だけでなく地域とも連携していけば、いじめを減らしていけるのではないか。また、いじめられた子といじめた子だけの問題ではなく、まわりで見ていた子も無関係ではない。そのような事例を道徳などで扱い、全体で考える事が大切だと思う。（和久田委員）
 - ・ 授業支援のボランティアに入ると参観会では見られない子供同士の小さいいざこざも見かけることがあるが、全体的には助け合う姿が印象的だった。また、エンカウンター等の伝える力を身に付けさせる授業をされていて、大切な事だ

と思った。『スマイル発見』の活動についても、友達の良いところを意識して見るという力が、小さいうちから身に付いていくので、とても良い取り組みだと思う。(尾高委員)

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、高倉健二教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・子供たちが地域への愛着心や愛校心を育む活動としていけるよう、材料等準備をお願いしたい。(谷野会長)
⇒活動に必要な材料・用具を準備する。また、1, 2年生も生きた英語にふれるよう、地域人材及びALTによる授業を取り入れていく。(高倉教頭)

協議の結果、全員異議なく「夢育やらまいか事業に対する意見書(案)」について承認した。

12 その他報告事項等

- 今年度のコミュニティー・スクール活動について(中村委員)
 - ・昨年度は2学期から学習支援活動を開始したが、今年度は1学期から始められるよう準備している。より充実した支援を進めていきたいと思うので御協力いただきたい。
- 次回会議は、令和5年6月23日(金)午後1時30分から神久呂小学校多目的室で開催する旨の連絡があった。